

令和7年度第1回袖ヶ浦市協働のまちづくり推進委員会 意見まとめ

1 協働のまちづくり推進計画全体について

- ・計画に係る事業が細かくて多いため、ある程度絞ったうえで注力していくことも検討すること。

2 活動指標の設定や評価について

- ・資料を見ただけでは、どのような課題があり、それに対してどのような取組を行い、次にどのような目標を設定したのかという、PDCAサイクルの流れがわからないため、市民が見てもわかりやすい資料となるよう努めること。
- ・この取組は何のためにやるかという目標を忘れてしまうことがないように、各課レベルでも共有すること。
- ・活動指標に設定している数値が具体的なものとそうでないものなど、各課によって設定のレベルがバラバラであるため、活動指標の見直しの際はある程度揃えることができるよう努めること。

3 個別の事業内容について

(1) No.1「市長と一緒にティータイムの開催」

- ・市内全中学校で生徒と給食をともにしながら若い世代の声を聞く取組である「給食懇談会」が、市長と一緒にティータイムの取組の一つとして誤解されないよう表現を修正すること。

(2) No.8「パブリックコメント手続きの活用」

- ・パブリックコメント1件当たりのコメント数が少ないため、より多くの方に見てもらえるよう周知方法を工夫すること。

(3) No.5「協働のまちづくりの事例収集と提供」

- ・市と地域コミュニティが行っている協働の事例について、ホームページ等でわかりやすい周知に努めること。

(4) No.16「防団協力事業所表示制度の運用」

- ・消防団員の確保が目標であるため、活動指標の設定は「協力事業者数」ではなく「消防団員数」とすることを検討すること。

(5) No. 35「交流センターの管理・運営」

- ・ 交流センターの管理に関する評価はあるものの、運営に関する評価がないことから、交流センターにしたことで新たにどのようなことができたか、どのようなことがプラスに働いたかなどがわかるようにすること。

(6) No. 46「自治会運営への支援」

- ・ 自治会の負担軽減策として電子回覧は有効であると思われるが、高齢の方など電子回覧に馴染まない方もいるため、電子と紙のいずれも選択できるような折衷案も含めて検討すること。
- ・ 自治会加入率の向上に向けて、条例に関することや転入者に対する働きかけなど、持続性のある自治会にしていけるよう市と自治会が一緒になって検討していくこと。